

国道159号津幡バイパスの事業推進

いしかわ かほく つばた
石川県河北郡津幡町

- 広域的連携交流・活力ある地域づくり

事業の概要

津幡バイパスは、地域高規格道路「月浦白尾 I C 連絡道路」の一部であり、津幡町地内の交通混雑の緩和及び金沢市と能登地域との連携強化を目的とする道路です。

整備効果

津幡バイパスの4車線化整備により、中央分離帯のある安全性の高い道路が整備され、交通事故が減少するとともに、津幡町地内の交通混雑の緩和及びこれに伴うCO²排出量の削減が見込まれます。

事業着手

昭和46年度

平成21年度の事業内容

平成21年度は、かほく市内日角～津幡町庄地区の改良及び舗装工事を完成させ、津幡バイパス（内日角～庄間）4車線化の延長約4.7kmを供用する予定です。

